

6

注射部位を軽くおさえます。



- 1 注射部位をアルコール綿などで軽くおさえます。
- 2 アルコール綿などをはずして、注射部位から血が出ていないことを確認して、注射は終了です。

⚠ 腫れることがありますので、注射部位はもまないでください。

7

使用済みのオートインジェクターを廃棄します。



- オートインジェクターは1回ごとの使い捨てです。使用後は再度使用せずに、医療機関の指示に従って廃棄してください。
- オートインジェクターを分解しないでください。

- ⚠ 使用済みのオートインジェクターは医療廃棄物です。絶対に自分で廃棄せず、医療機関の指示に従い、取扱いには十分注意してください。
- ⚠ お子様に触れないように注意してください。

パソコン、携帯電話から
ベンリスタに関する情報をご覧いただけます。

<http://kusurigsk.jp/BL/>

二次元コードが読み取れない場合は、
上記URLを直接ご入力ください。



ベンリスタの使い方のお問い合わせは、

カスタマー・ケア・センター

TEL:0120-561-305

(9:00~17:45 / 土日祝日および当社休業日を除く)

または、医師、薬剤師、看護師にご相談ください。

ベンリスタの使い方

皮下注射用

注射を始める前に……



- 机を拭きましょう
- 手を洗きましょう
- アルコール綿・廃棄容器を準備しましょう
(製品には同梱されておりません)



【保管に関する注意】

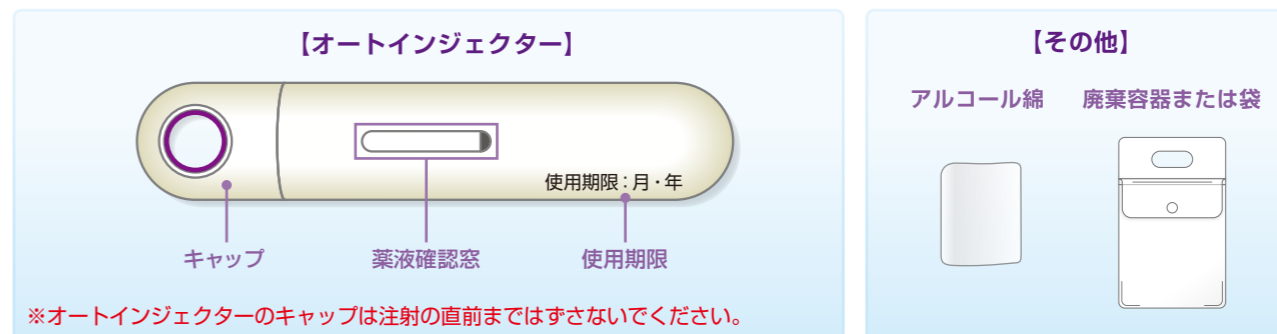
- 冷蔵保存してください。(冷凍しないでください。)
- 外箱に入れたまま遮光保存してください。
- お子様の手の届かないところに保管してください。

【取扱いに関する注意】

- オートインジェクターを振らないでください。
- 硬い場所に落とした場合は使用しないでください。

1

明るくて清潔な場所に以下のものを準備します。

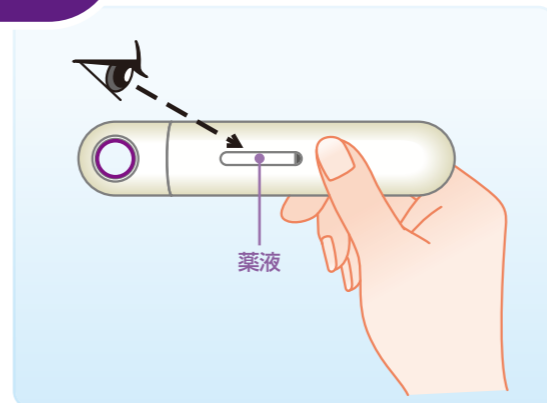


- オートインジェクターは、冷蔵庫から取り出し、常温になるまで30分間待ちます。

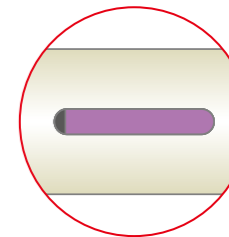
- ⚠ オートインジェクターを電子レンジ、熱湯、直射日光などで温めないでください。
- ⚠ 12時間以上常温に放置された場合は使用しないでください。
- ⚠ 使用期限を過ぎている場合は、使用しないでください。

2

薬液を確認します。



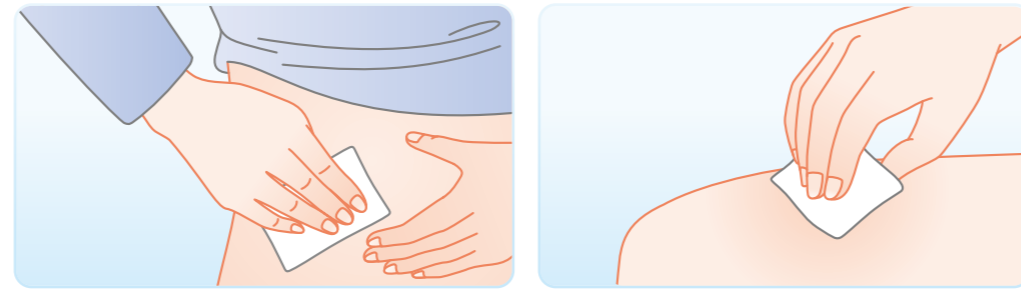
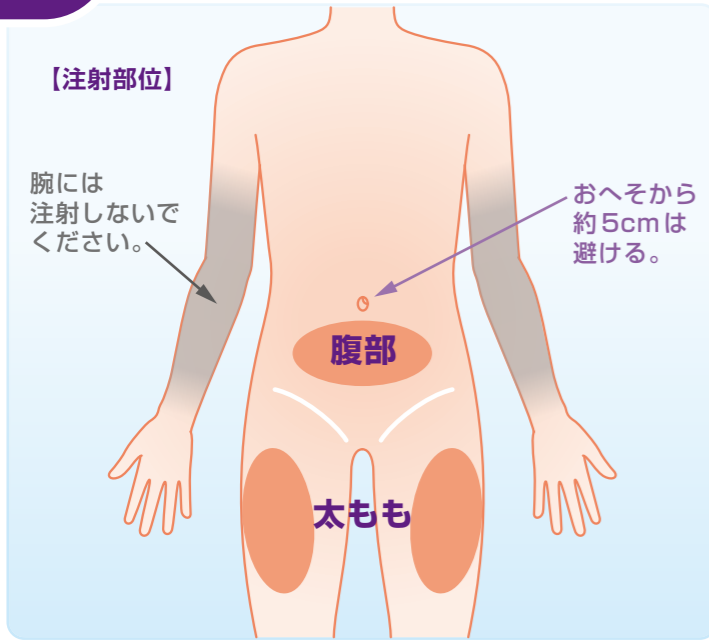
- 未使用の製品であることを確認します(薬液確認窓から薬液が見えず、紫色の確認バーが見えるものは一度使用した製品です)。



- ⚠ 薬液に濁りや粒子がみられる場合は、使用しないでください(薬液が透明またはやや黄色みがかっている、いくつか気泡が入っているのは正常です)。

3

注射部位を選び、消毒します。

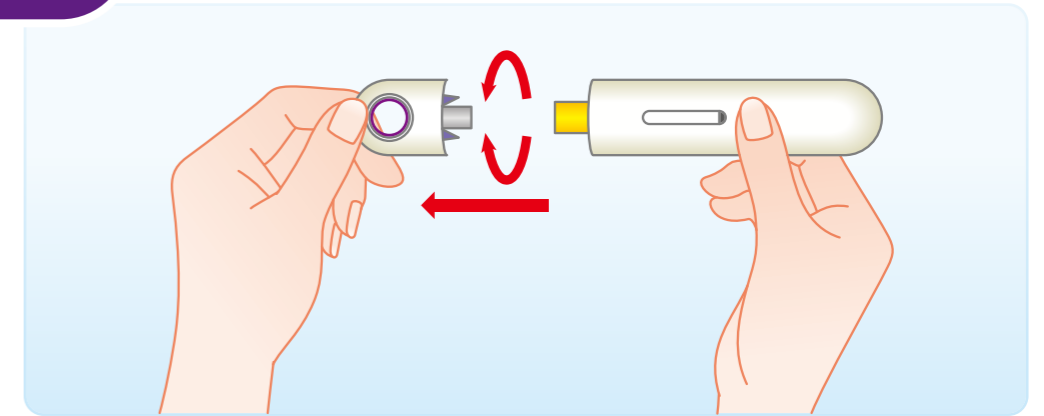


- ① 注射する部位は「腹部」または「太もも」です。
- ② 注射部位を選び、アルコール綿で拭いて消毒します。

- ⚠ 同じ箇所を繰り返し注射しないでください。
- ⚠ 皮膚が赤い、傷がある、硬くなっている部位には、注射しないでください。
- ⚠ 消毒した部位は、再度手が触れないよう注意してください。

4

キャップをはずします。



● キャップを引っ張るか、ねじってはずします。

- ⚠ 注射の直前までキャップをはずさないでください。
- ⚠ 一度はずしたキャップは本体に戻さないでください。

5

注射部位にオートインジェクターを押しあて、確認バーが停止するまでそのまま待ちます。



① 薬液確認窓が見えるようにオートインジェクターを持ち、注射部位に対して直角になるよう黄色い安全カバーを軽くあてます。

② 注射部位にオートインジェクターの黄色い安全カバーが見えなくなるまで深く押しあてます。

③ カチッと音がして、薬液の注入が始まると、薬液確認窓の中を紫色の確認バーが動き始めます。

④ 2回目のカチッという音から3秒後に紫色の確認バーが停止します。

⑤ 確認バーが停止したことを確認してから、オートインジェクターを注射部位から離します。

- ⚠ 腹部に注射する場合は、皮膚を軽くつまんで直角に押しあててください。

- ⚠ 少しチクッとしますが、薬液の注入が終わるまでオートインジェクターを押しあてたまま、注射部位から絶対に離さないでください。

- ⚠ 2回目のカチッという音がしてから3秒間は、そのまま押しあて続け、手を離さないでください。

- ⚠ 紫色の確認バーが停止したことを確認するまで、オートインジェクターを絶対に離さないでください。
- ⚠ 使用後は針が出ないようにロックがかかります。